

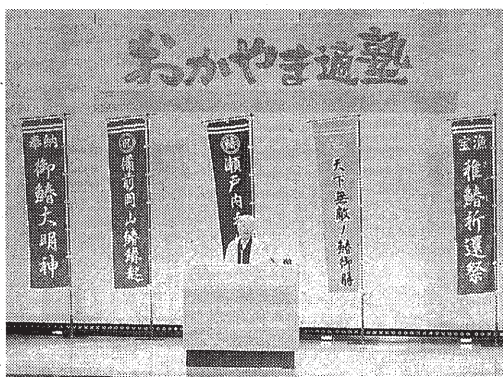
平成19年4月24日講演分

第4回

東京にサワラ売り込め

おかやま適塾 赤木氏が講演

地元で活躍する著名人の講演を通し、岡山の未来を考える「第四回おかやま適塾」が二十四日、岡山市柳町の山陽新聞社



さん太ホールであり、岡山市の間違えられたエピソードを紹介。「岡山観光に対する関心の低

さにショックを受けた。今の観光は景色を見るだけでなく、付加価値が必要と考え、県外出身者から人気が高いサワラ料理に着目した」と述べた。

山商工会議所(同市厚生町)の赤木啓治・観光委員長が「岡山名物さわら料理で観光振興―生みの苦しみ」と題して講演した。

赤木氏は、二〇〇二年に観光キャンペーンで九州を訪れた際、後楽園(岡山市)の場所を倉敷市と間違えられたエピソードを紹介。「岡山観光に対する関心の低

サワラ料理による観光振興策を話す赤木委員長

さしにショックを受けた。今の観光は景色を見るだけでなく、付加価値が必要と考え、県外出身者から人気が高いサワラ料理に着目した」と述べた。

その上で、県内や近県でサワラが岡山名物として定着してきたことに触れ、「今後は多くの人が集まる東京などの都市圏で知名度を高めていきたい」と力を込めた。

講演は約三十人が聴いた。(黒住正義)